



県民の安心感に関するアンケート調査結果（令和4年）

1 趣旨

「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動に係る第5期アクション・プラン（計画期間：R3～R7）の運動目標の達成に向けた取組の方向性を確認するとともに、県民の「安心」の向上に資する警察活動を推進するため、県民を対象に、体感治安に関するアンケート調査を実施し、その結果についての集計を行った。

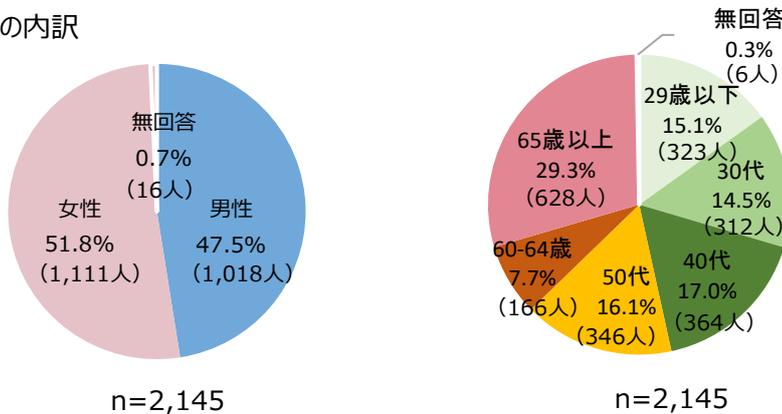
【把握すべき事項】

- ① 体感治安の現状
- ② 体感治安の向上に向けて重点的に取り組むべき施策（犯罪の取締りを除く）
- ③ 体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪
- ④ インターネットを利用することで不安に感じる事
- ⑤ 特殊詐欺の被害防止に有効な対策
- ⑥ 警察の取組に関する認知度
- ⑦ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態

2 調査方法

- 実施期間：令和4年5月23日～7月29日
- 調査方法：交番・駐在所等に勤務する警察官が受持区域の住宅等を戸別訪問するなどして実施。
- 有効回答数：2,145人

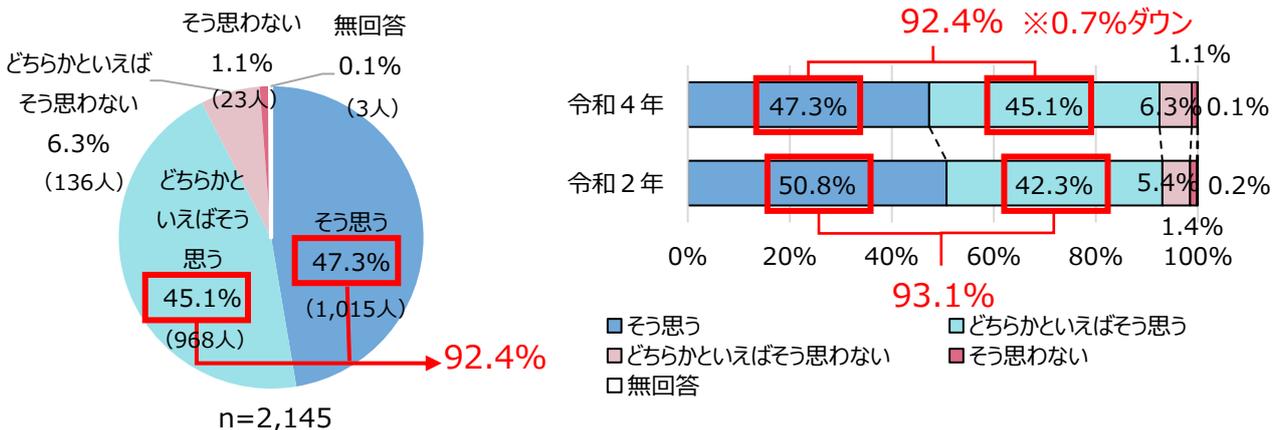
性別・年齢の内訳



3 調査結果

① 体感治安の現状

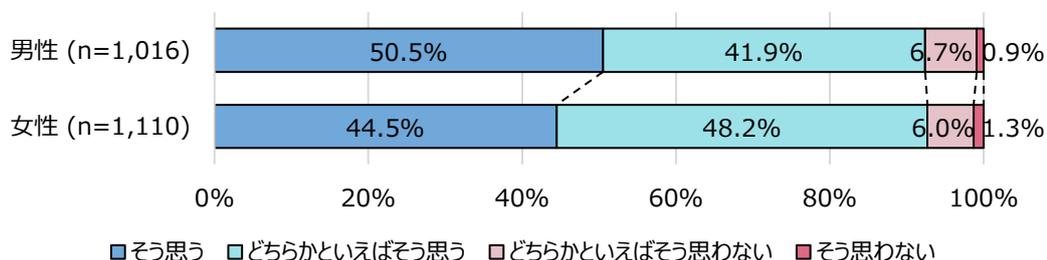
問 現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。



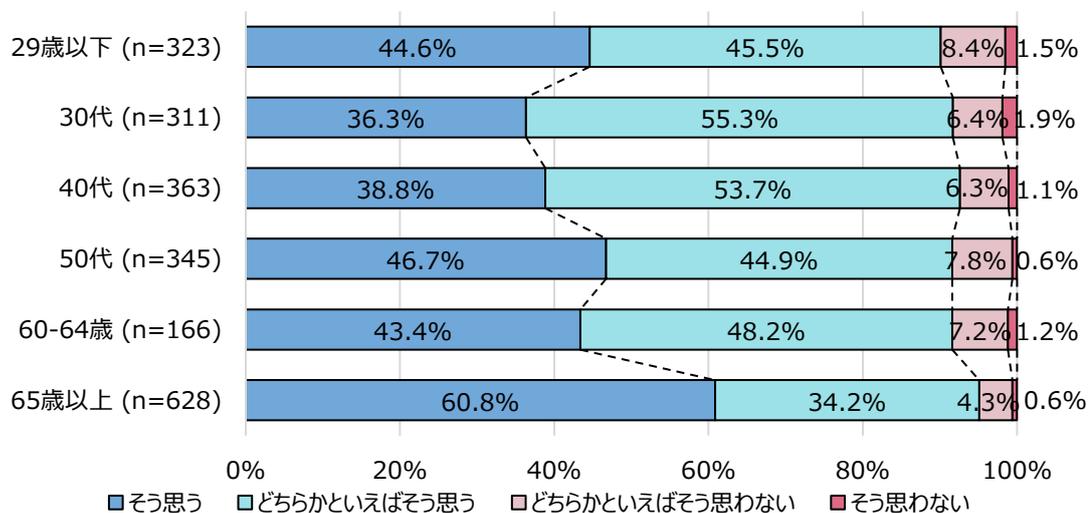
属性別の体感治安

現在、あなたがお住まいの地域は、治安が良く、安全で安心して暮らせる地域だと思いますか。(以下同じ)

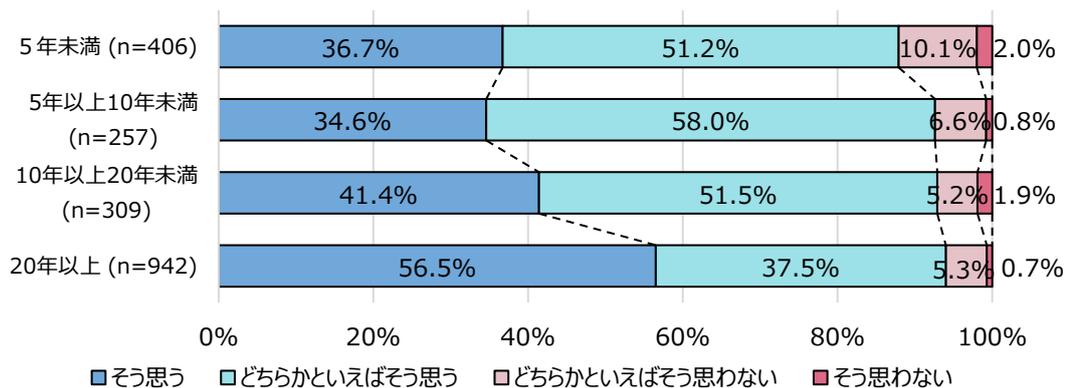
男女別 (n=2,126 無回答19人を除く)



年齢別 (n=2,136 無回答9人を除く)

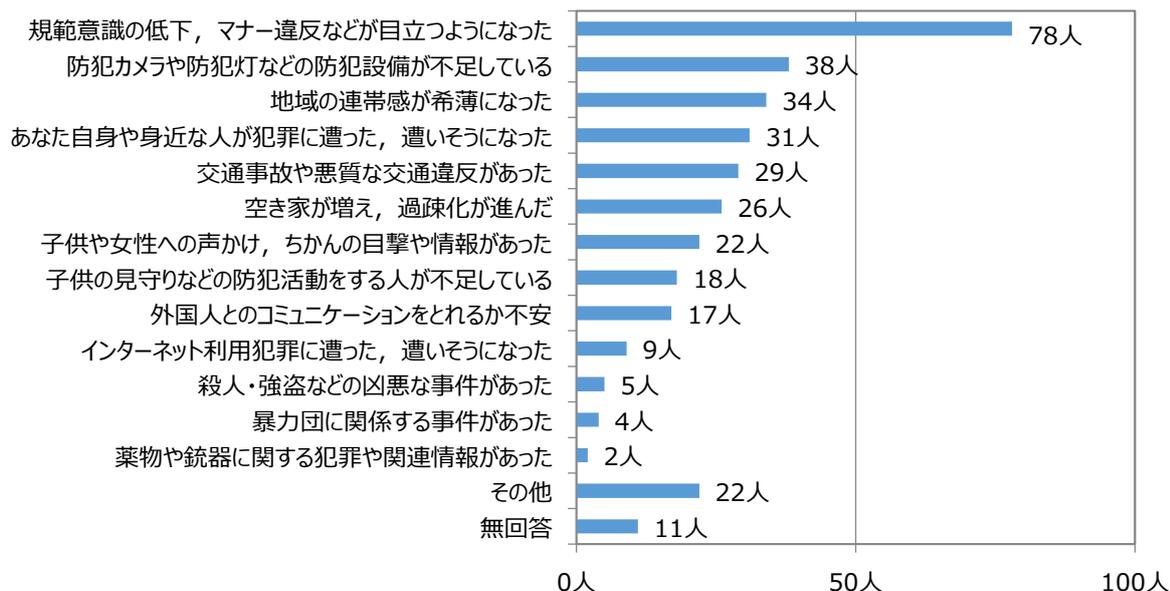


居住年数別 (n=1,914 無回答231人を除く)



- 男女別では、治安良好※と回答した男性は女性と比べて0.3ポイント低い。
 - 年齢別では、体感治安が良好と感じる年代は65歳以上が最も高く、29歳以下が最も低い。
 - 居住年数別では、居住年数に比例して、「そう思う」と回答する人の割合が高くなっている。
- ※治安良好＝「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計

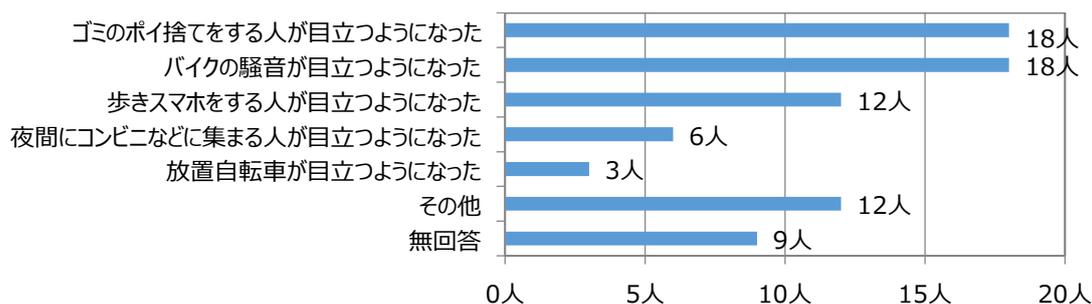
治安良好と思わないと回答した理由（複数回答，n=159）



その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

不審者（情報）が増えた	4人
人のモラルが低下した（交通違反・マナー違反・迷惑行為が増えた）	4人
道路が狭い，街灯が少ない	2人
交通量が多い	1人
田畑が住宅となり，知らない人が増えた	1人
その他	9人
無回答	1人

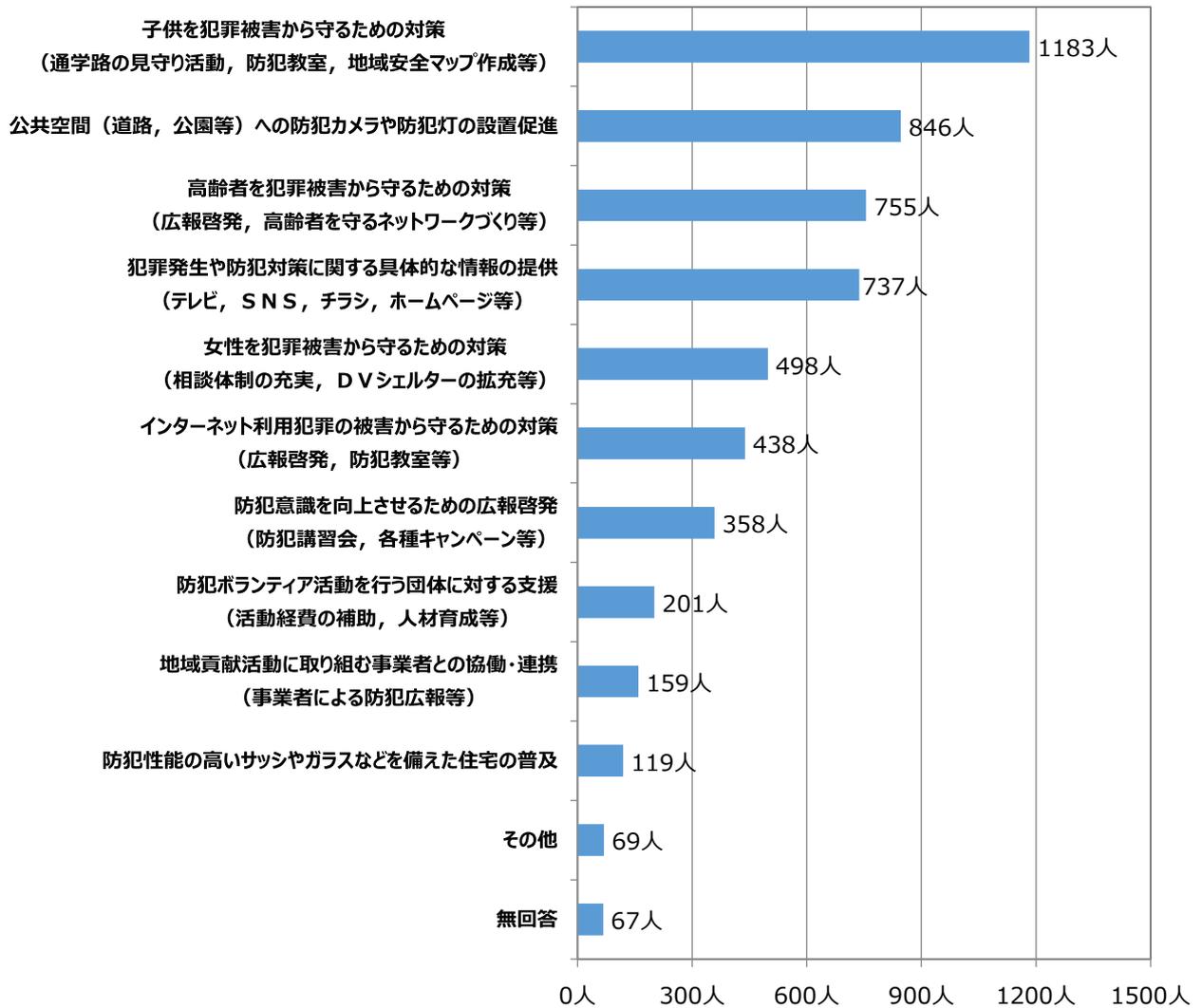
規範意識の低下，マナー違反などが目立つようになった理由（n=78）



その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

路上駐車，放置自転車	4人
騒音	3人
公共交通機関でのマナー違反	1人
その他	4人

②体感治安の向上に向けて重点的に取り組むべき施策（犯罪の取締りを除く），（複数回答，n=2,145）

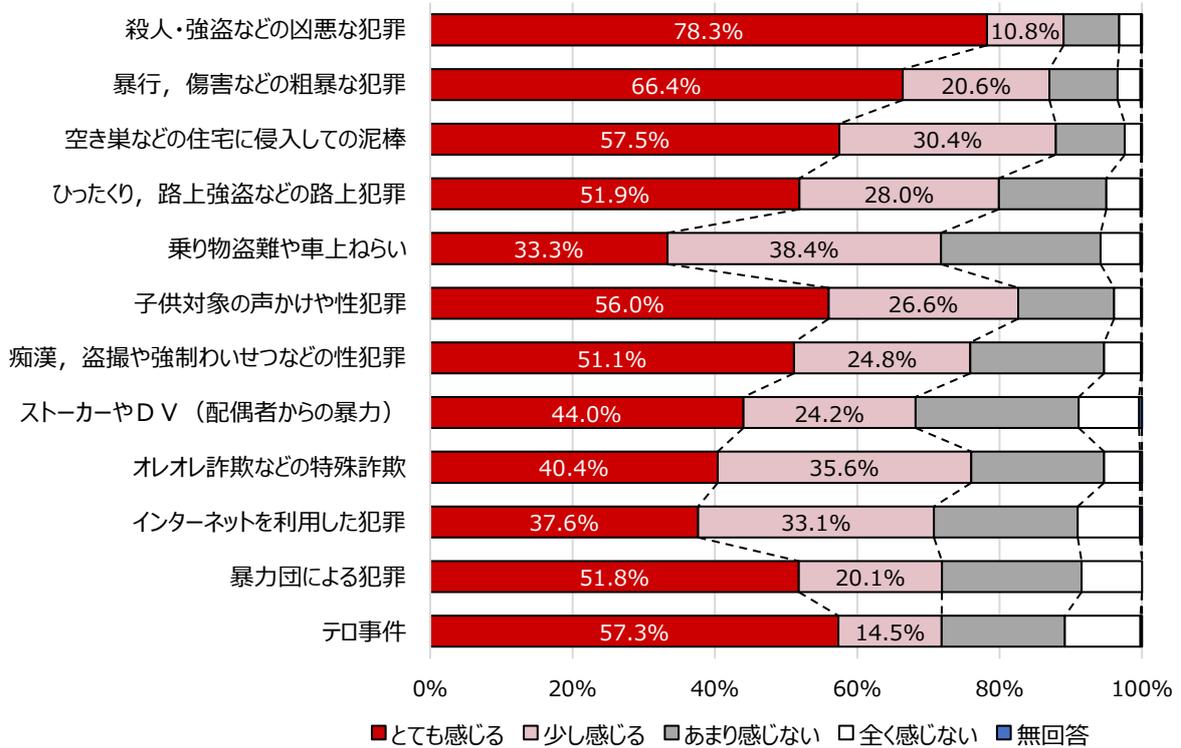


その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

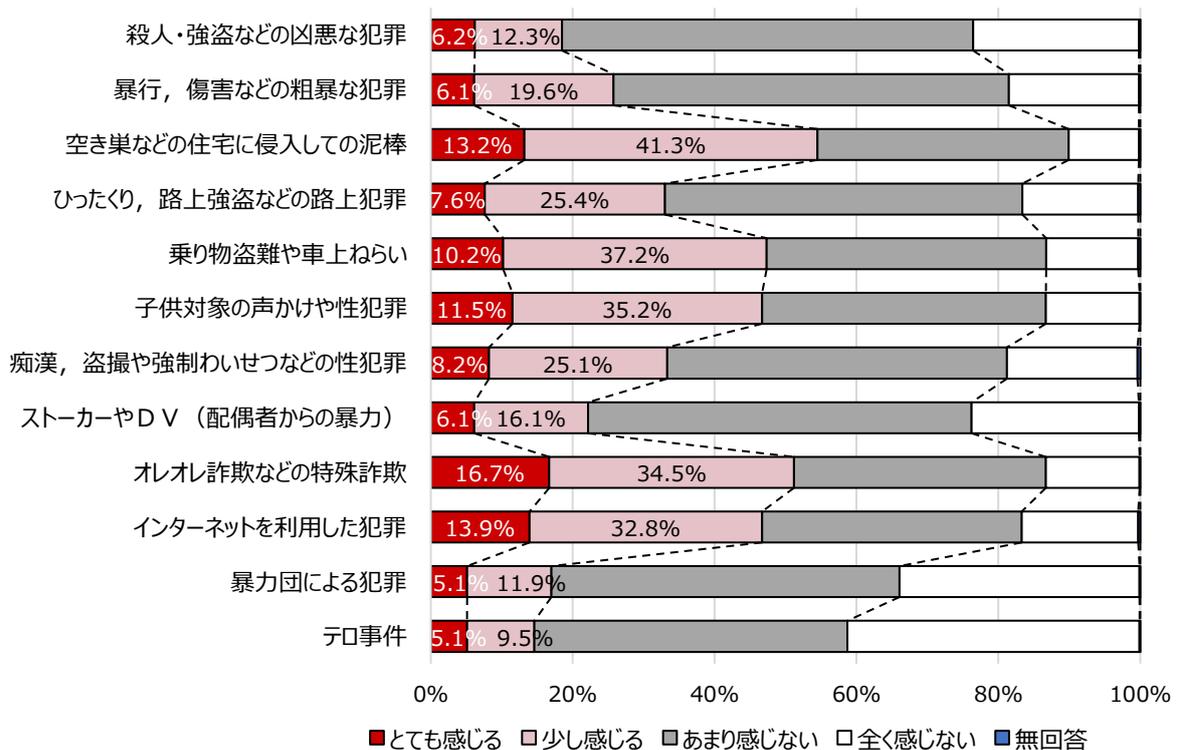
警察官や行政によるパトロール	12人
交通安全対策（交通監視, 交通取締, 交通安全教育）	8人
警察官の増員（空き交番, 駐在所対策）	4人
マナー違反对策	3人
火災対策	2人
地域の関係性の向上対策	2人
子供への声かけ	1人
高齢者対策	1人
防犯建築部品への補助金	1人
その他	7人
特になし	28人

③体感治安の向上に向けて重点的に抑止対策を行うべき犯罪

問 あなたは、次の各々の犯罪に対して、どの程度「怖い」と感じますか。【犯罪脅威度】



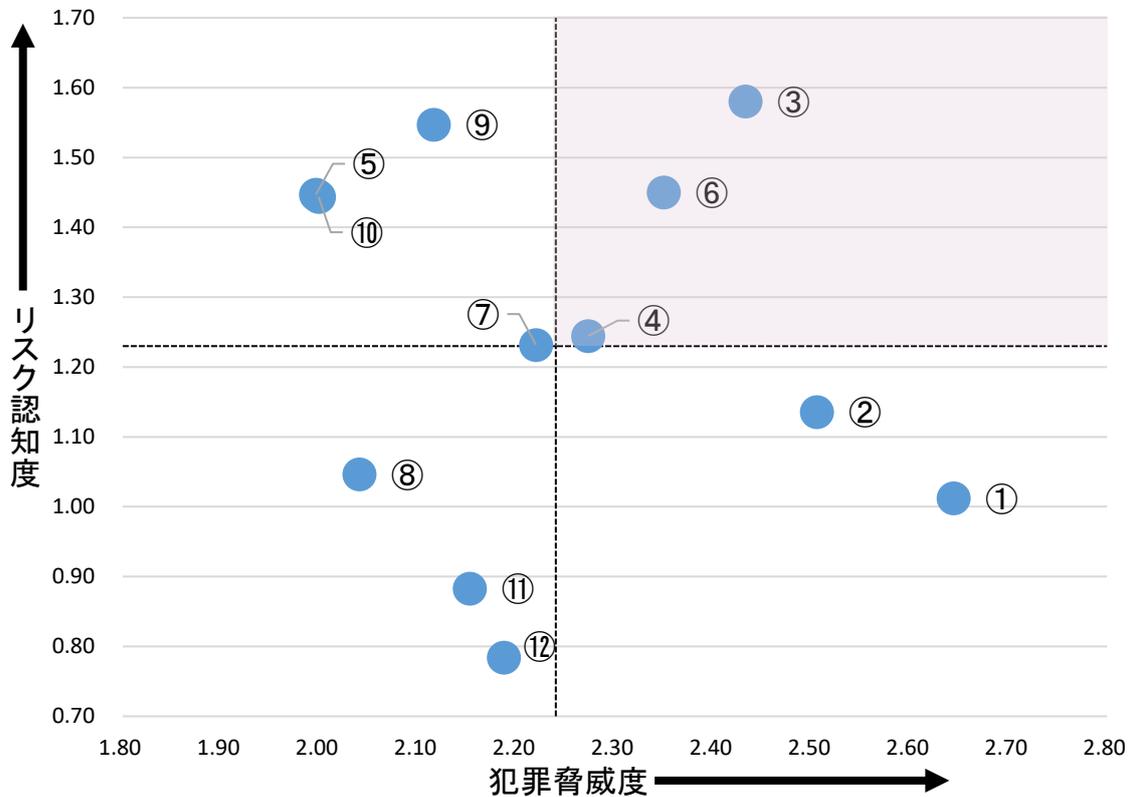
問 あなたは、お住まいの地域で、次の各々の犯罪に対して「自分や身近な人が被害にあう可能性」をどの程度感じますか。【リスク認知度】



犯罪脅威度×リスク認知度

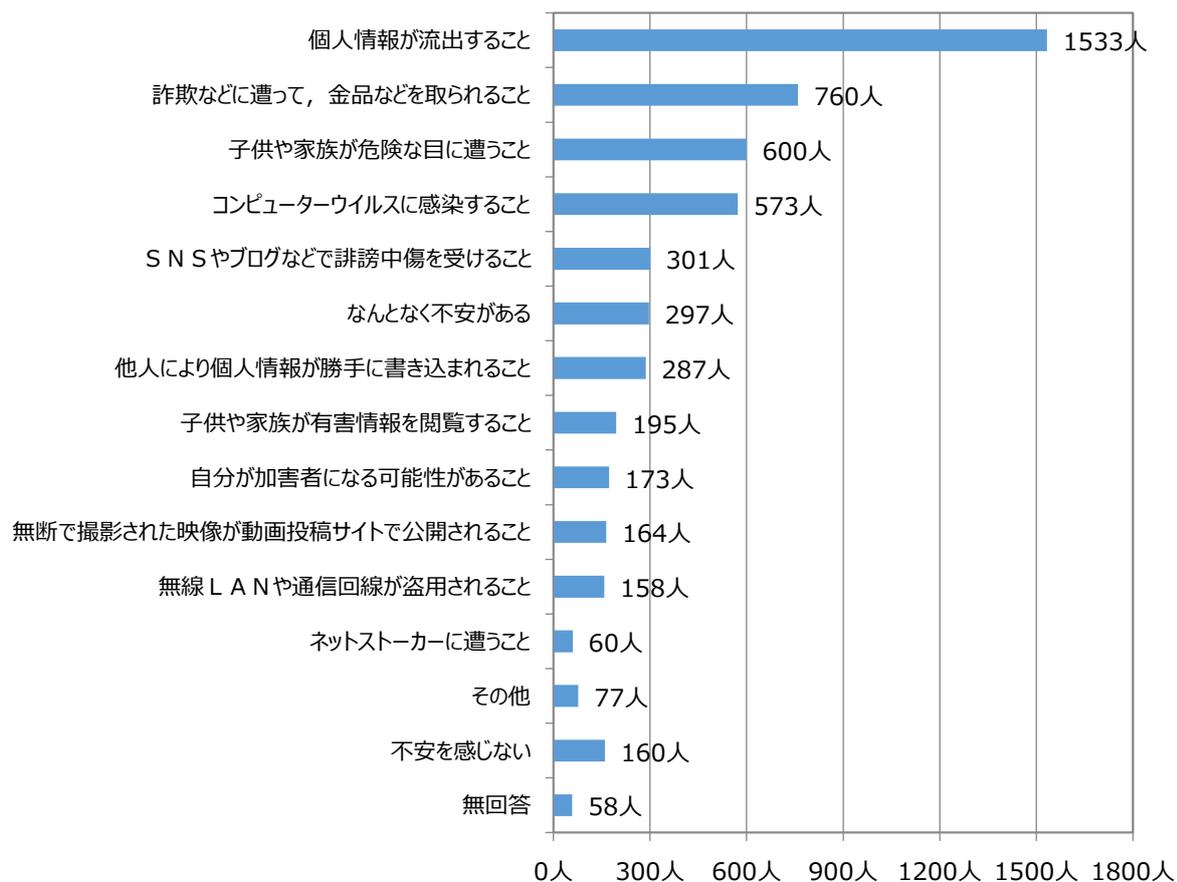
	犯罪脅威度	リスク認知度
①殺人・強盗などの凶悪な犯罪	2.64	1.01
②暴行，傷害などの粗暴な犯罪	2.51	1.14
③空き巣などの住宅に侵入しての泥棒	2.43	1.58
④ひったくり，路上強盗などの路上犯罪	2.27	1.24
⑤乗り物（自動車，オートバイ，自転車）盗難や車上ねらい	2.00	1.45
⑥子供対象の声かけや性犯罪	2.35	1.45
⑦痴漢，盗撮や強制わいせつなどの性犯罪	2.22	1.23
⑧ストーカーやDV（配偶者からの暴力）	2.04	1.05
⑨オレオレ詐欺などの特殊詐欺	2.12	1.55
⑩インターネットを利用した犯罪	2.00	1.44
⑪暴力団による犯罪	2.15	0.88
⑫テロ事件	2.19	0.78

※ 犯罪脅威度・リスク認知度とも、「あまり感じない」= 1点、「少し感じる」= 2点、「とても感じる」= 3点として算出した加重平均値。



- 身近な犯罪（侵入窃盗，路上犯罪など）や子供・女性を狙った犯罪などが，犯罪脅威度（犯罪そのものの怖さの程度）とリスク認知度（被害に遭う可能性を感じる程度）がともに高い。
- 一方で，①殺人・強盗などの凶悪犯罪の脅威度は高いがリスク認知度が低く，逆に⑤乗り物盗や車上ねらい，⑩インターネット犯罪はリスクの認知はされているが，脅威度は低いと感じられている。

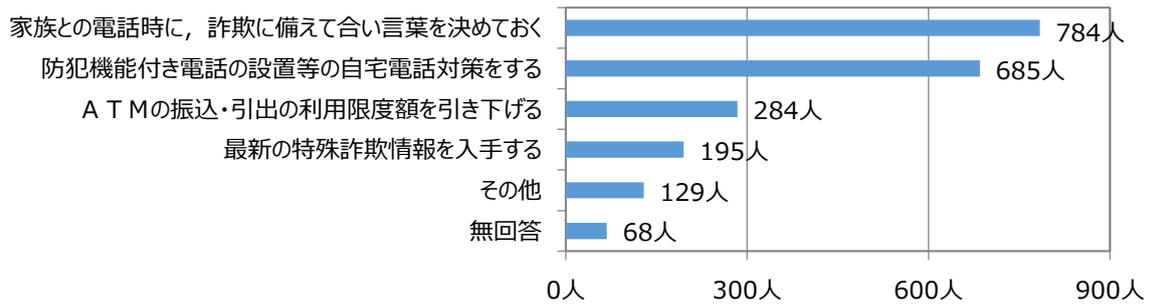
④インターネットを利用することで不安に感じること（複数回答，n=2,145）



その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

インターネット自体が犯罪の温床であることを自覚している	1人
利用していない	74人
無回答	1人

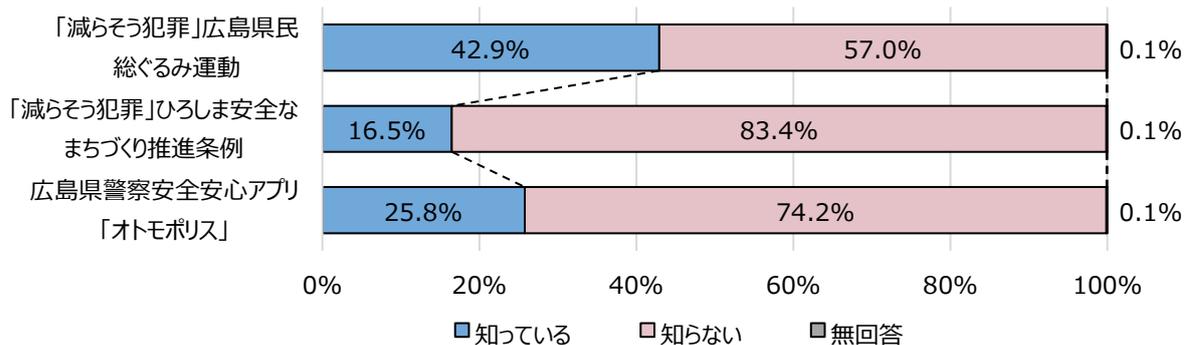
⑤ 特殊詐欺の被害防止に有効な対策 (n=2,145)



その他の回答（自由回答で得た回答を分類したもの）

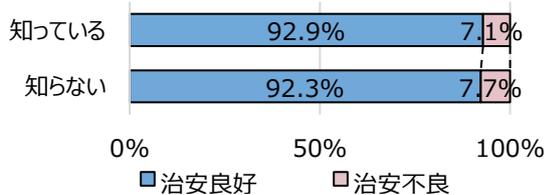
家族等との連携（相談，声かけ）	17人
情報の入手（テレビ，ラジオ，新聞）	4人
その他（知らない電話に出ない，すぐに切る）	68人
なし，分からない，無回答	40人

⑥ 警察の取組に関する認知度 (n=2,145)

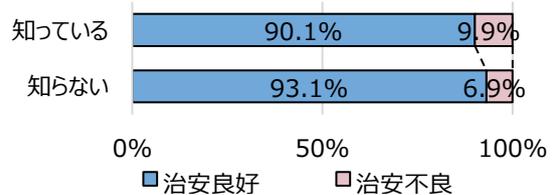


認知度と体感治安の関係性

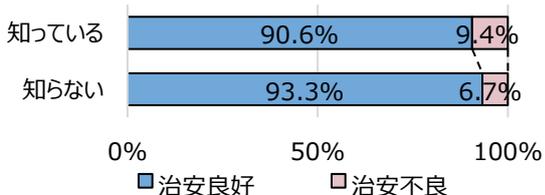
「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動



「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例

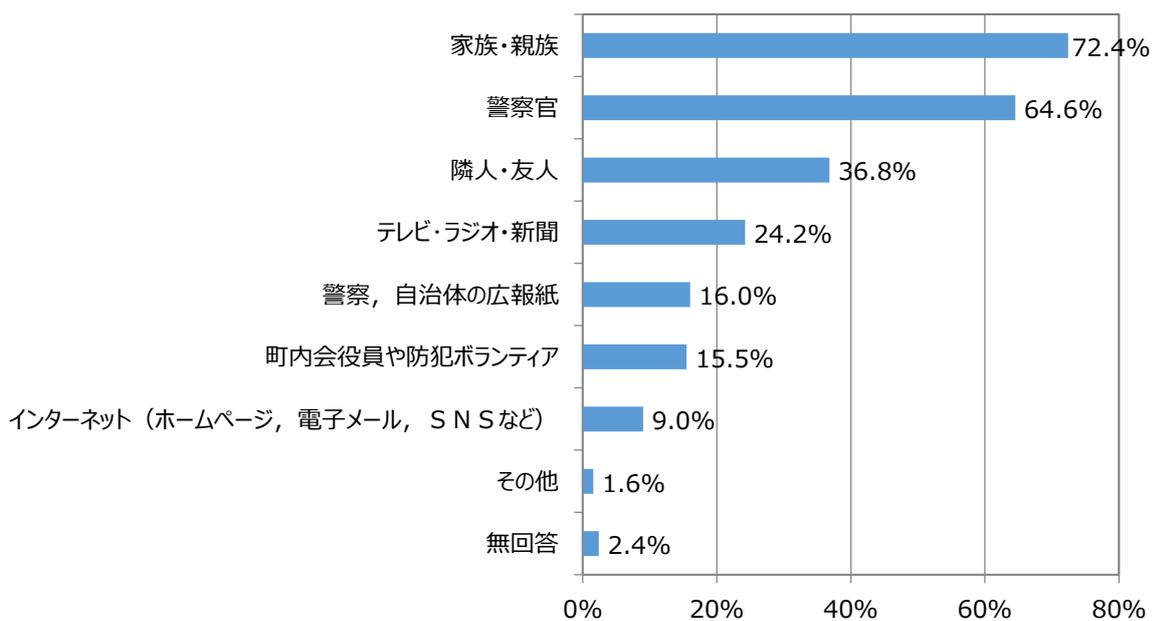


広島県警察安全安心アプリ「オトモボリス」



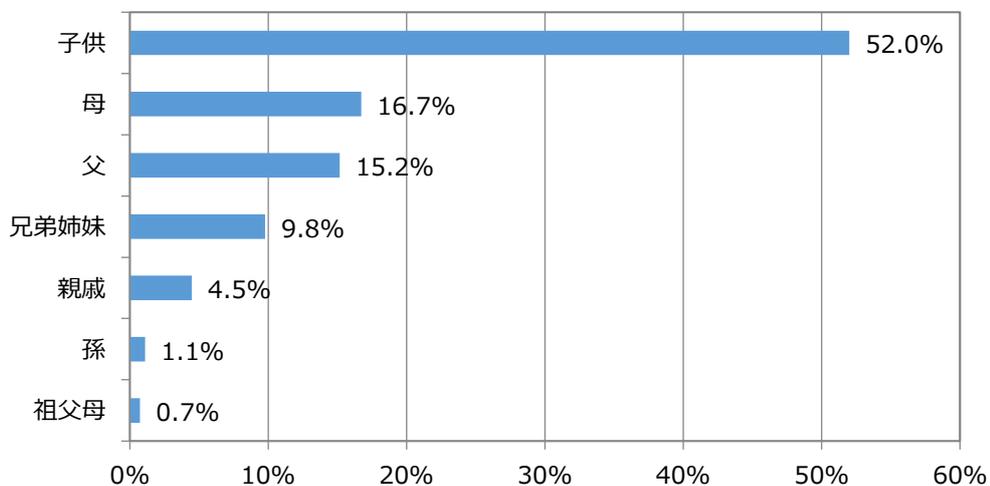
● 「減らそう犯罪」運動（42.9%）の認知度が最も高く、「オトモボリス（25.8%）」、「「減らそう犯罪」ひろしま安全なまちづくり推進条例（16.5%）」の順の認知度となっている。

⑦ 防犯行動に影響を及ぼす犯罪情報の喚起形態（複数回答，n=2,145）



- 約 4 人に 3 人が「家族・親族」の注意喚起に応じて防犯行動をとると回答している。
- また、約 3 人に 2 人が「警察官」による注意喚起で、約 3 人に 1 人が「隣人・友人」の注意喚起で防犯行動を起こすと回答している。

防犯行動に影響を及ぼす家族・親族の内訳（n=1,094）



- 「家族・親族」の注意喚起に応じて防犯行動をとると回答した人は、約 2 人に 1 人が「子供」からの注意喚起に応じて防犯行動を起こすと回答している。